オッテルロー, オランダ

クレラー＝ミュラー美術館：名作

クレラー＝ミュラー・コレクションのゴッホ、トーロップ、ルドン、スーラ、モンドリアン、そしてほかの画家たち

AI翻訳を使用



クレラー＝ミュラー美術館は、オランダのデ・ホーヘ・フェルウェ国立公園内にあります。ヘレーネ・クレラー＝ミュラーの収集をもとに発展したコレクションは、とりわけゴッホの絵画が充実しています。近代美術の所蔵品と彫刻庭園でも知られています。

ここで紹介する二十点でも、ゴッホが中心を占めています。靴下を繕う女性から、夜のカフェテラス、ラングロワ橋、両手に顔を埋めた老人まで、さまざまな作品を取り上げます。その周囲には、コレクションをたどるいくつもの筋道があります。ヤン・トーロップの絡み合う人物像、オディロン・ルドンが木炭で描いた頭部、パステルの人物像、伝説の救出場面、そしてウィリアム・ドグーヴ・ド・ヌンクの閉ざされたような家々は、いずれも何かを明かさずにいます。モーリス・ドニの《四月》では、風景のなかの人物が模様へと変わります。ジョルジュ・スーラによる対照的な二点、一方は踊りの場面、もう一方は静かな水路の絵は、色を分けて置く筆触で描かれたアンリ＝エドモン・クロスの漁師たちと見比べることができます。ピエト・モンドリアン、テオ・ファン・ドゥースブルフ、ジョルジュ・ヴァルミエの作品では、幾何学へと目が向きます。制作年を隔てて響き合う作品もあります。スーラとファン・ドゥースブルフの踊り手たち、あるいはヴァルミエの分解された静物と、ここで最も古いヤン・トレックの静物です。

これらの作品は、美術館が記録している所蔵品から、美術館とは独立して選んだものです。制作年と作者の帰属には、コレクションの記録に記された留保をそのまま残しています。

アートラインでこのセレクションをご覧ください

選定された作品を、同時代の書籍や出来事と並べてご覧いただけるほか、アーティストの生きた時代を比較することも可能です。ここで紹介する書籍や出来事は、あくまで背景情報を示すものであり、直接的な影響の証拠ではありません。制作年代が特定されていない作品も、本ガイドに含まれています。

文脈の中の芸術作品　誰がいつ生きたのか?

artlines.org/guides/kroller-muller-museum

作品一覧・20

1. The Three Brides
   Jan Toorop · 1893
2. Terrace of a Café at Night
   Vincent van Gogh · 1888年9月16日頃
3. The Laureate Head
   Odilon Redon · 1875年頃
4. Woman with a Yellow Bodice
   Odilon Redon · 1899年頃
5. The Langlois Bridge at Arles
   Vincent van Gogh · 1888年3月中旬
6. Composition in Line, Second State
   Piet Mondrian · 1916–1917
7. Geometrical Still Life I
   Georges Valmier · 1919
8. Hamlet in the Snow
   William Degouve de Nuncques · 1911
9. Landscape with Wheat Sheaves and Rising Moon
   Vincent van Gogh · 1889
10. Fishermen in the Var
    Henri-Edmond Cross · 1898年頃
11. Sorrowing Old Man, At Eternity's Gate
    Vincent van Gogh · 1890年5月
12. Still Life
    Jan Treck · 1640年頃
13. Woman Mending Stockings
    Vincent van Gogh · 1881
14. The Blind House
    William Degouve de Nuncques · 1892
15. April
    Maurice Denis · 1892
16. Le Chahut
    Georges Seurat · 1889-1890
17. Dancers
    Theo van Doesburg · 1916
18. Fatality
    Jan Toorop · 1893
19. The Channel at Gravelines, Looking towards the Sea
    Georges Seurat · 1890
20. Roger and Angelica
    Odilon Redon · 1909年頃

01 / 20

The Three Brides

Jan Toorop

1893 · キャンバスに油彩 · Kröller-Müller Museum



Jan Toorop. The Three Brides. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/jan-toorop/the-three-fiancees · Public domain (WikiArt source label)

題名には三人の花嫁とあるので、それぞれに役割を持つ登場人物として探したくなるのは自然なことです。ところが、それは容易ではありません。うねるような律動的な線が画面を満たし、人物たちを一つの大きな模様に取り込んでいます。目は身体から身体へと線をたどりながらも、登場人物を個別に見分けるには至りません。この雰囲気を生んでいるのは、繰り返される曲線です。個々のモチーフをどこまで象徴として読むべきかは、はっきりしません。

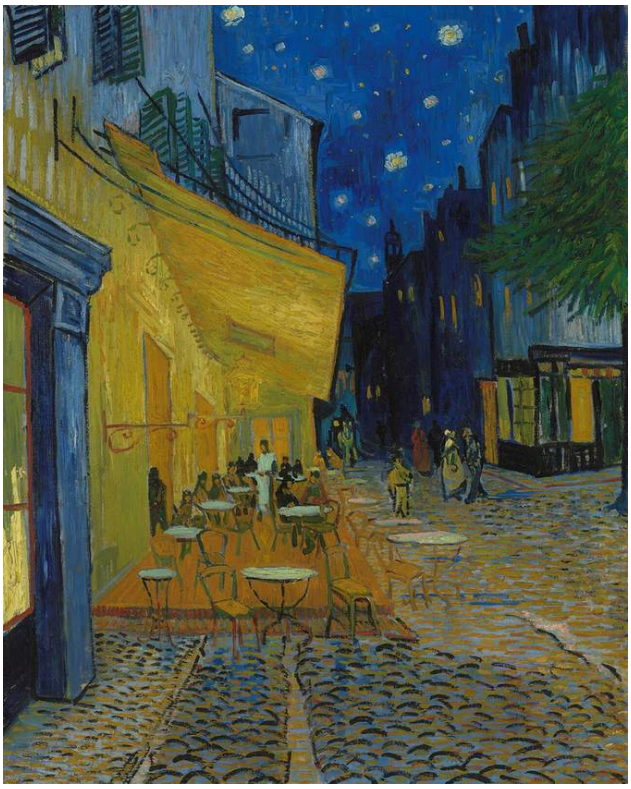
作品情報の出典 · 作品を開く

02 / 20

Terrace of a Café at Night

Vincent van Gogh

1888年9月16日頃 · キャンバスに油彩 · Kröller-Müller Museum



Vincent van Gogh. Terrace of a Café at Night (Place du Forum). Image credit: Vincent van Gogh; Source credit: https://data.collectienederland.nl/page/aggregation/kroller-muller/44529. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Proportional resize and JPEG compression; full source frame retained. · Public domain

美術館の解説によると、ゴッホはガス灯に照らされたこのカフェテラスを、日が暮れてから屋外で描きました。つまり、夜の色を描くと同時に、その色を夜の光のもとで見定めたのです。テラスの黄色と夜の青は互いを際立たせ、通りはその先の奥行きへと視線を導きます。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録: KM 108.565

03 / 20

The Laureate Head

Odilon Redon

1875年頃 · 紙に木炭と鉛筆 · Kröller-Müller Museum



Odilon Redon. The laureate head. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/odilon-redon/the-laureate-head · Public domain (WikiArt source label)

木炭と鉛筆だけで、色はありません。ここにあるルドン作品のうち最も早い時期のこの絵は、月桂冠を戴く頭部を横顔で描いていますが、仕上げの度合いは場所によって大きく異なります。ルドンが重みと量感を与えているのは一部だけです。首や下端は曖昧なままなので、像は完結した肖像にまとまりません。彫刻の頭部に見えたかと思うと、次には幻のように見えます。

作品情報の出典 · 作品を開く

04 / 20

Woman with a Yellow Bodice

Odilon Redon

1899年頃 · 紙にパステル · Kröller-Müller Museum



Odilon Redon. Woman with a Yellow Bodice. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/odilon-redon/woman-with-a-yellow-bodice · Public domain (WikiArt source label)

ルドンは肖像画で通常見られる優先順位を逆転させています。顔は柔らかなタッチで描かれ、ほとんど後景に退くようです。目を引くのは黄色い胴衣で、モデルを囲む寒色がそれを引き立てています。木炭による《月桂冠を戴く頭部》には色がまったくありません。それに対して、このパステル画は表現の力のほぼすべてを色に、そして顔立ちよりも衣服に注いでいます。

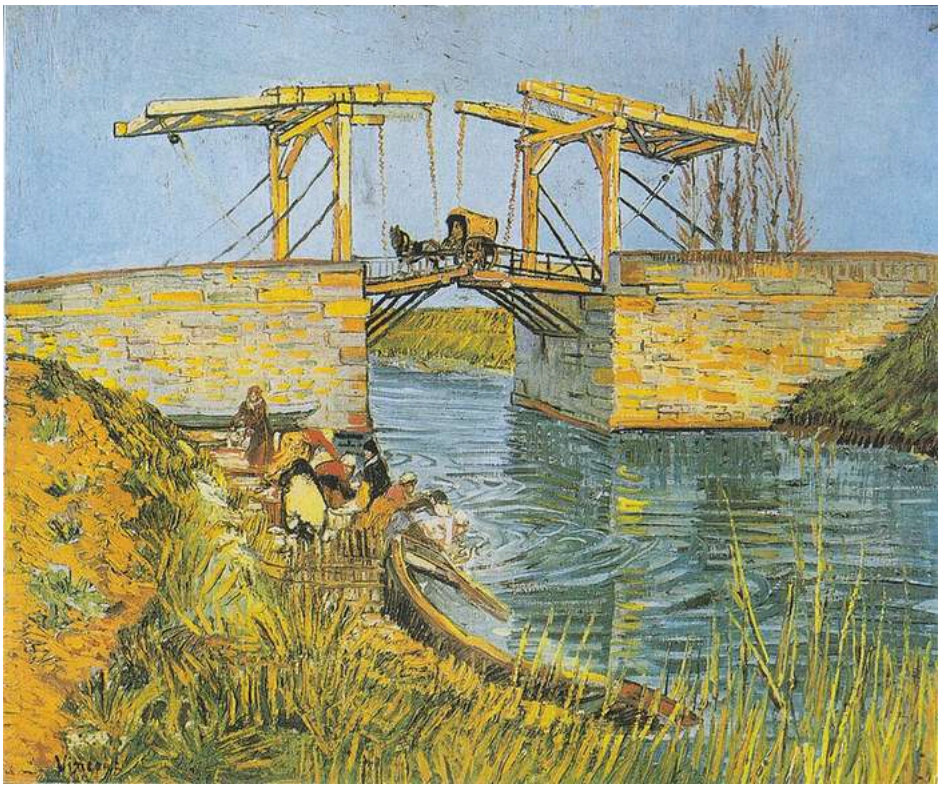
作品情報の出典 · 作品を開く

05 / 20

The Langlois Bridge at Arles

Vincent van Gogh

1888年3月中旬 · キャンバスに油彩 · Kröller-Müller Museum



Vincent van Gogh. Bridge at Arles (Pont de Langlois). Image credit: Vincent van Gogh; Source credit: Copied from an art book. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Proportional resize and JPEG compression; full source frame retained. · Public domain

跳ね橋は、工学的な構造物として描かれています。上方の跳ね上げ機構は、梁と角度による明確な骨組みを画面に与えています。その下では、水とそこに映る像が、より自由で生き生きとした筆触に分かれているため、構造物の幾何学が場面全体を支配することはありません。岸辺の人物たちは、橋の周辺での営みを示しています。

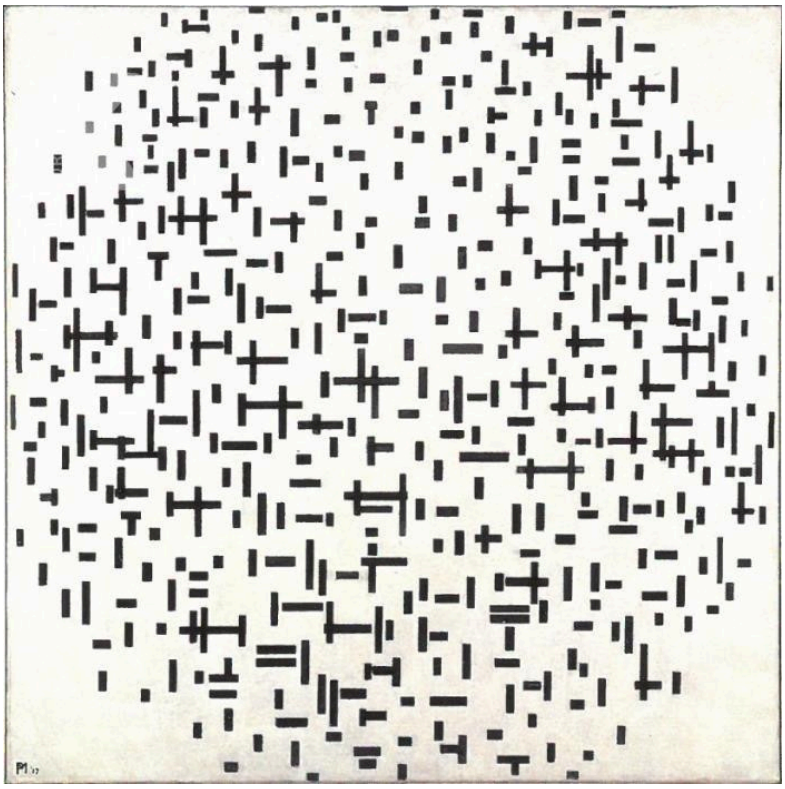
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録: KM 111.056

06 / 20

Composition in Line, Second State

Piet Mondrian

1916–1917 · キャンバスに油彩 · Kröller-Müller Museum



Composition in line, second state. Wikimedia Commons; Piet Mondrian; reproduction from catalogue.pietmondrian.nl. Public domain (PD-Art). Full-frame resize and JPEG compression. · Public domain (PD-Art)

淡い楕円のなかに、縦と横の線だけが置かれています。この限られた要素から、モンドリアンは驚くほど豊かな変化を生み出しています。線は長さ、間隔、密度が異なり、規則的な格子に落ち着くことがありません。ところどころで密集し、縁に向かうにつれてまばらになり、模様が散っていくかのようです。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録: KM 106.482

07 / 20

Geometrical Still Life I

Georges Valmier

1919 · Kröller-Müller Museum



Georges Valmier. Geometrical still life I. Image credit: Georges Valmier. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

分解された静物です。平面化された幾何学的な形のあいだから、器やテーブルの縁が姿を現しますが、一つの視点から配置の全体を見渡すことはできません。部分どうしの関係から、ものの姿を組み立てていく必要があります。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録: KM 103.852

08 / 20

Hamlet in the Snow

William Degouve de Nuncques

1911 · Kröller-Müller Museum



William Degouve de Nuncques. Hamlet in the Snow. Image credit: William Degouve de Nuncques. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

暗い小川、葉を落とした木々、低い家々。ここにあるものはどれも、ありふれた冬景色のなかで不自然ではありません。不安を生むのは、その配置です。小川は、幹が繰り返し並んでつくる幕のような木立を縫って曲がり、その向こうに家々があります。家だとはすぐにわかっても、そこへたどり着くのは難しそうです。木々のあいだに隠れた人物はいません。それでもこの風景には、警戒しながら内に閉じこもるような気配があり、まるで幹そのものが見張りをしているかのようです。

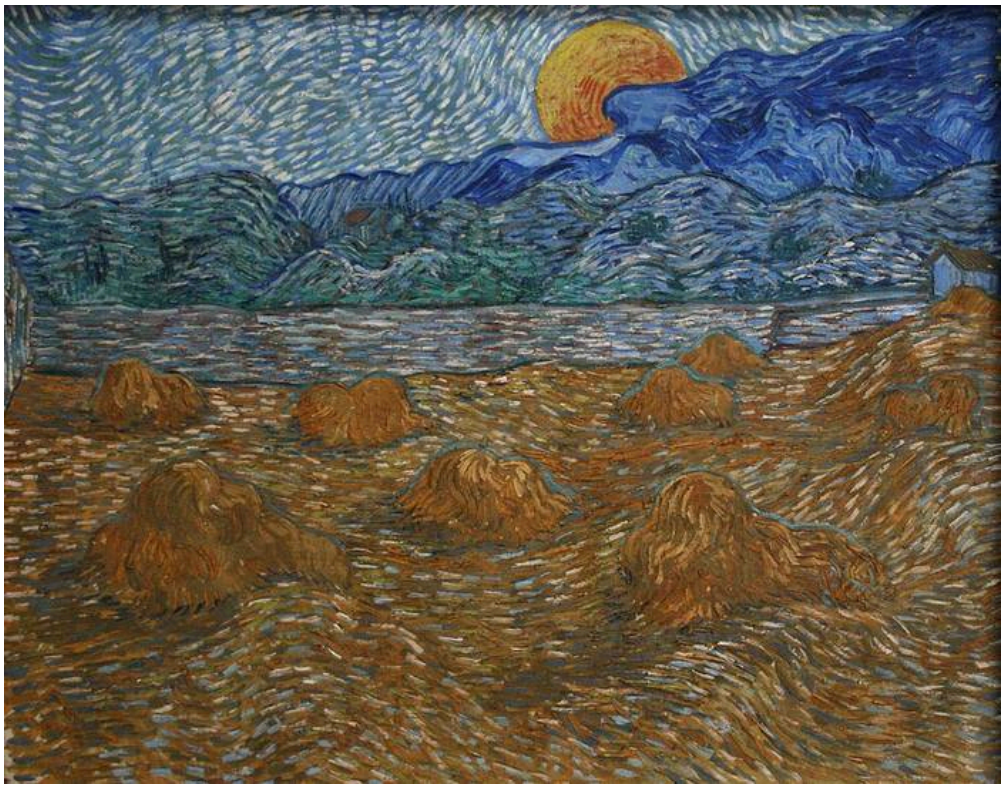
作品情報の出典 · 作品を開く

09 / 20

Landscape with Wheat Sheaves and Rising Moon

Vincent van Gogh

1889 · Kröller-Müller Museum



Vincent van Gogh. Landscape with wheat sheaves and rising moon. Image credit: Vincent van Gogh; own photo in the Kröller-Müller museum. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Landscape_with_wheat_sheaves_and_rising_moon.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

収穫を終えた畑のあちこちで、ゴッホの筆触は絶えず向きを変えています。そのため地面は何度も手を加えられたように見え、刈り入れを終えた畑にふさわしい表情を帯びています。麦の束は、その落ち着かない表面に立っています。その上では、オレンジ色の月が単純で安定した円形を保ち、あらゆる動きの上に静かな形として昇っています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録: KM 107.656

10 / 20

Fishermen in the Var

Henri-Edmond Cross

1898年頃 · Kröller-Müller Museum



Henri-Edmond Cross. Pêcheurs (Var). Image credit: Henri-Edmond Cross; Own work. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Henri-Edmond-Cross-Fisherman.jpg. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Full-frame resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · Public domain

クロスは、身をかがめた漁師たちを、岸辺や明るい空とまったく同じ、目に見える独立した色の筆触で描いています。姿勢によって人物は周囲から区別されますが、技法によって再び周囲と結びつきます。筆触が散らばる画面のなかで、目を留める最も明確な形は帆です。

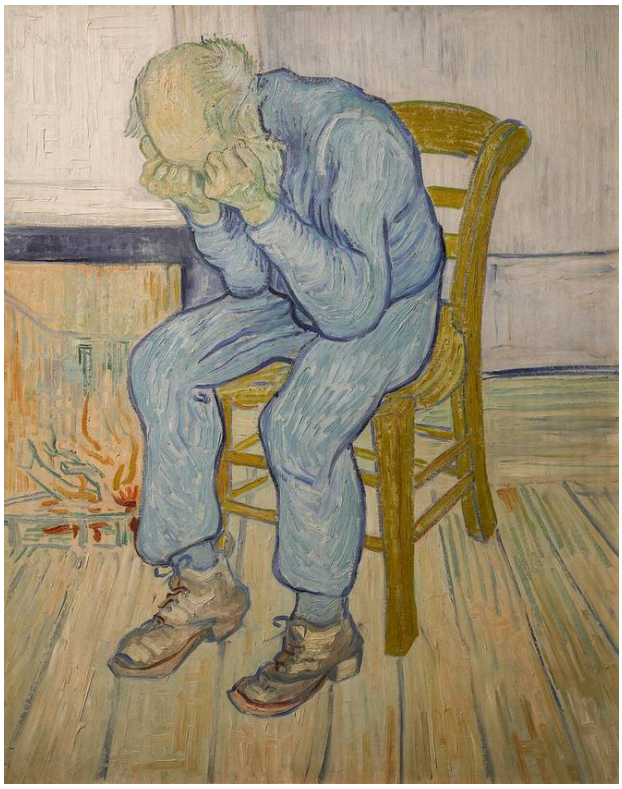
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録: KM 109.001

11 / 20

Sorrowing Old Man, At Eternity's Gate

Vincent van Gogh

1890年5月 · キャンバスに油彩 · Kröller-Müller Museum



Vincent van Gogh. Sorrowing Old Man ('At Eternity's Gate'). Image credit: GoldenArtists. CC BY-SA 4.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0). Proportional resize and JPEG compression; full source frame retained. · CC BY-SA 4.0

顔が両手に埋もれているため、この男性の悲しみを説明するかもしれない表情は見えません。すべてを伝えなければならないのは身体です。丸まった背中、うなだれた頭、そして座る姿を支える、地面を踏みしめた足。苦悩は紛れもありませんが、その原因は示されていません。題名は異なる方向へと見る者を導きます。「悲しむ老人」は、目の前にあるものを言い表しています。後半の「永遠の門にて」は、絵には決して示されない、もっと大きな何かへと手を伸ばしています。絵が見つめ続けるのは、打ちひしがれて座る一人の男性です。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録: KM 111.041

12 / 20

Still Life

Jan Treck

1640年頃 · Kröller-Müller Museum



Jan Treck. Still Life circa 1640. Image credit: Jan Treck. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

小さなハイライトが暗い器を一つずつ浮かび上がらせ、そのあいだを白い布が走り、器どうしを結ぶと同時に隔てています。布がテーブルの縁から垂れるところで、配置に奥行きが生まれます。ヴァルミエの《幾何学的静物》は、器やテーブルの縁を断片に分けています。ここでは、わずかな光の点と一続きの布が、それらを一つにまとめるのに十分なのです。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品登録: KM 108.288

13 / 20

Woman Mending Stockings

Vincent van Gogh

1881 · Kröller-Müller Museum



Vincent van Gogh. Woman Mending Stockings. Image credit: Vincent van Gogh. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

ここにあるゴッホ作品のうち最も早い時期のこの絵は、手元の小さな仕事を描いています。注意は両手と暗い色の靴下に集まります。その下では、長いスカートが身体に量感を与えています。どっしりと座った身体は、繰り返される繕いの動きの安定した土台になっています。この選集で最も遅い時期のゴッホ作品《悲しむ老人——永遠の門にて》と並べて見るとよいでしょう。どちらも座る一人の人物を描き、両手が目を引きつけます。こちらの手は忙しく働き、あちらの手は顔を覆っています。

作品情報の出典 · 作品を開く

14 / 20

The Blind House

William Degouve de Nuncques

1892 · Kröller-Müller Museum



William Degouve de Nuncques. The blind house. Image credit: William Degouve de Nuncques; Source credit: Kröller-Müller Museum. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

暗い木々を背景に、オレンジ色の壁が家の存在を際立たせています。けれども、その先へ踏み込むのは別の話です。窓は何も返してこないように見え、内部は視界から閉ざされています。題名は、そのあり方に言葉を与えています。これは視線を返すことのできない家なのです。ずっと後に描かれた《雪のなかの小村》でも、ドグーヴ・ド・ヌンクは家々との間に同じような距離を保っています。

作品情報の出典 · 作品を開く

15 / 20

April

Maurice Denis

1892 · Kröller-Müller Museum



Maurice Denis. April. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

緑の地面に繰り返し現れる淡い人物像は、それぞれ別の人なのでしょうか。それとも、繰り返される色の形なのでしょうか。ドニは、その両方であることを許しています。曲がりくねる道は風景の奥へと導きますが、平面化された色面が繰り返し注意を画面の表面へと引き戻します。ここには遠近感がありますが、それが装飾的な模様をしのぐことはありません。

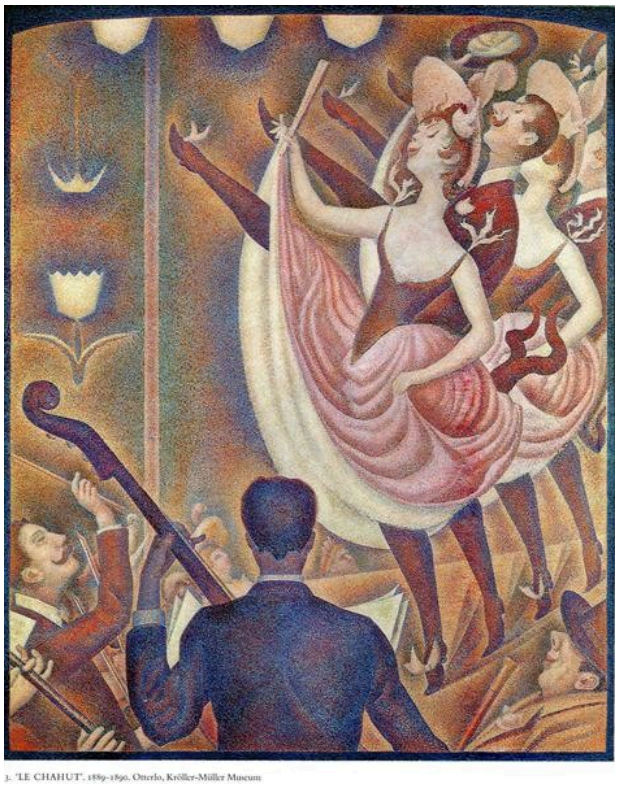
作品情報の出典 · 作品を開く

16 / 20

Le Chahut

Georges Seurat

1889-1890 · Kröller-Müller Museum



Georges Seurat. Chahut. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

高く上げた脚が画面にあふれる踊りの場面ですが、どこにも自由に走らせた筆触はありません。スーラは秩序から高揚感を生み出しています。脚、上向きの曲線、踊り手たちの身振りが画面全体で繰り返され、それぞれが図案の一部のように、別の形と呼応しています。

作品情報の出典 · 作品を開く

17 / 20

Dancers

Theo van Doesburg

1916 · Kröller-Müller Museum



Theo van Doesburg. Dancers. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

スーラに続くもう一つの踊りの絵で、はるかに少ない要素で描かれています。スーラの踊り手たちもすでに反復される部分から組み立てられていましたが、ファン・ドゥースブルフの踊り手たちは、ほとんどそれだけでできています。幾何学的な断片に、人体の構造はほぼ残っていません。それでも、二人の姿が一つに溶け合うことはありません。腕の位置や形の傾きだけで、一方の身振りをもう一方から見分けることができます。

作品情報の出典 · 作品を開く

18 / 20

Fatality

Jan Toorop

1893 · Kröller-Müller Museum



Jan Toorop. Fatality. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

《三人の花嫁》と同じ年の作品で、同じような線に結びつけられています。ただし、あちらの題名が登場人物を示すのに対し、こちらは一つの観念を示しています。流れる髪と取り囲む線によって、中心の人物たちの周囲にはほとんど空間が残されず、宿命は絡み合いとして目に見える形を取っています。身体は、それぞれの身振りを越えて広がる模様に捕らわれ、そこから抜け出せないように見えます。

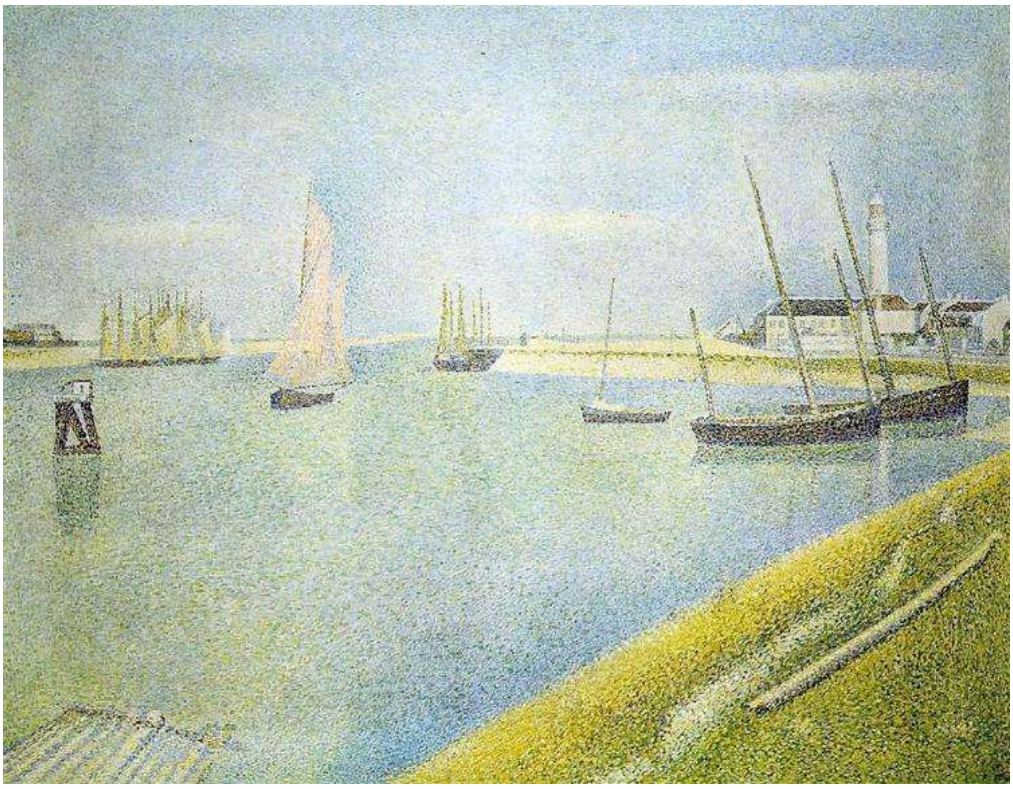
作品情報の出典 · 作品を開く

19 / 20

The Channel at Gravelines, Looking towards the Sea

Georges Seurat

1890 · Kröller-Müller Museum



Georges Seurat. The Channel at Gravelines, in the Direction of the Sea. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

ここにあるもう一点のスーラ作品は、ほぼ同じ時期に描かれたもので、《ル・シャユ》のにぎやかさに匹敵するほど静かです。淡い水面からマストが立ち上がり、長い岸辺が構図を安定した水平の帯に分けています。ただし、その静けさを生むのは配置であって、絵の具の置き方ではありません。クロスの漁師たちの絵と同じく、画面の表面は数多くの独立した活気ある筆触でできています。

作品情報の出典 · 作品を開く

20 / 20

Roger and Angelica

Odilon Redon

1909年頃 · Kröller-Müller Museum



Odilon Redon. Roger and Angelica. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/odilon-redon/roger-and-angelica · Public domain (WikiArt source label)

ここにあるルドン作品のうち最も遅い時期のこの絵だけが、物語を語っています。ロジェがアンジェリカを救うという伝説です。ルドンはそれを、ごく控えめに語ります。何かにまたがる人物と翼のある生き物は、周囲の色のなかから部分的にしか姿を現しません。青、オレンジ、金色は、何を描いているかとは別に、それ自体の生命を持つように見え、場面はまだ形になりつつあるかのようです。木炭の《月桂冠を戴く頭部》からこの絵まで、ここにあるルドンの作品は、色のない素描から、主題をほとんど離れかけた色彩へと移っていきます。

作品情報の出典 · 作品を開く

来館前に

ここで紹介されているからといって、その作品が展示されているとは限りません。特定の一点を見るために出かける場合は、出発前に美術館の作品記録を確認してください。

関連書籍

Vincent van Gogh: The Letters

Vincent van Gogh; edited by Leo Jansen, Hans Luijten and Nienke Bakker · 無料で読む · 英語翻訳と原文

ゴッホの書簡には、自分がどのように制作し、ほかの芸術家についてどう考えていたかが詳しく記されています。この学術版はオンラインで無料で読むことができ、原文と英訳が併記されています。カフェテラスやラングロワ橋など、主題から検索することもできます。この資料は、選集全体ではなく、ここにあるゴッホの各作品の解説に対応するものです。

博物館のウェブサイト · 公式コレクションガイド

情報源と来館案内は確認済みです。: 2026-10-12

AI翻訳を使用

Artline · クレラー＝ミュラー美術館：名作